

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 26

千葉県立船橋高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

次のア～ウの要件を具備する者

ア 本校への志望動機及び理由が明確であること。

イ 本校の教育目標に向かって努力し、その成果が期待できる資質を有すること。

ウ 理数系分野への高い興味・関心を有すること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価に基づき、数値等で評価する。
(3) 面接	面接の評価基準に基づき、総合的に評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点（国語・社会・英語は100点満点，数学・理科は100点満点の得点を1.5倍して，それぞれ150点満点）の合計（600点満点）により評価する。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とし、イ～カについては総合的な判定の資料とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	① 算式1で算出した数値を選抜の資料とする。 ② 各学年の必修教科の評定に1がある場合，審議の対象とする。
イ 総合的な学習の時間の記録	問題となる記載がある場合，審議の対象とする。
ウ 出欠の記録	① 3学年通算で欠席が30日以上ある場合，審議の対象とする。 ② 第3学年において欠席が10日以上ある場合，審議の対象とする。
エ 部活動の記録	部活動で県大会を経て，関東大会以上に出場，または個人で県1位の成績をあげたと認められる記述については評価する。

オ 特記事項	英検 2 級以上等の記述については評価する。
カ 総合所見	特に問題となる記載がある場合，審議の対象とする。

(3) 面接

評価項目	評価基準
総合評価	① 面接委員 2 名で 5 ～ 6 名の受検者に約 20 分間の集団面接を実施し，総合評価として A，B の 2 段階で評価する。 ② 面接での評価が B の場合，審議の対象とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「算式 1 で算出した数値」に 0.5 を乗じた数値に「学力検査の 5 教科の得点合計（600 点満点）」を加えたものを総合点とし，総合点の高い者から順に，「期待する生徒像」に基づき各選抜資料の内容等について審議し，特に問題のない者を予定人員まで入学許可候補者として内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加える。なお，提出されたことにより不利益な取り扱いをすることがないように十分に配慮する。

5 その他

過年度卒業者については，個人面談を行う。